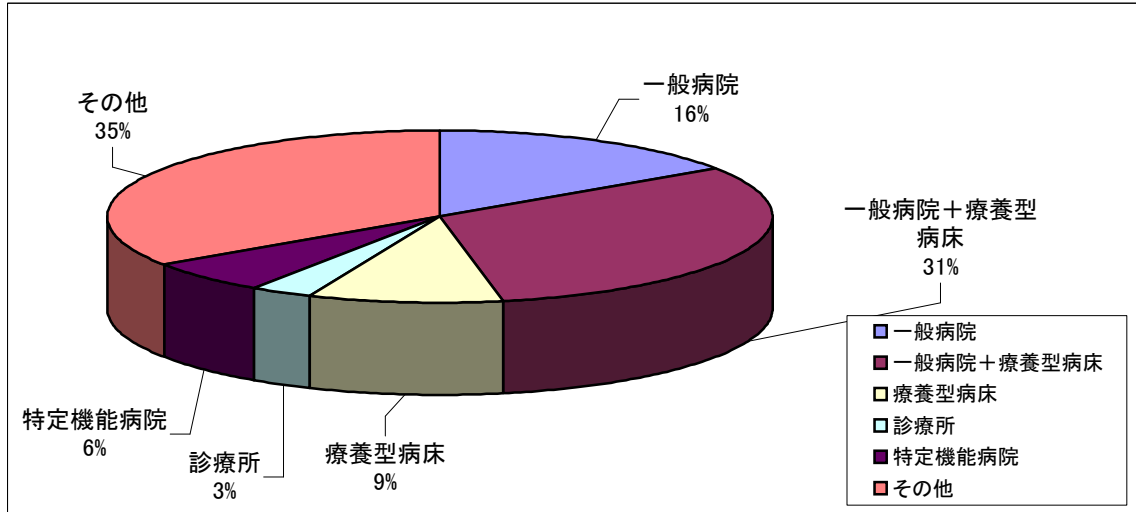


第3回秋田県PDNセミナー (平成18年12月16日開催)

アンケート集計結果

(サンプル数 30)

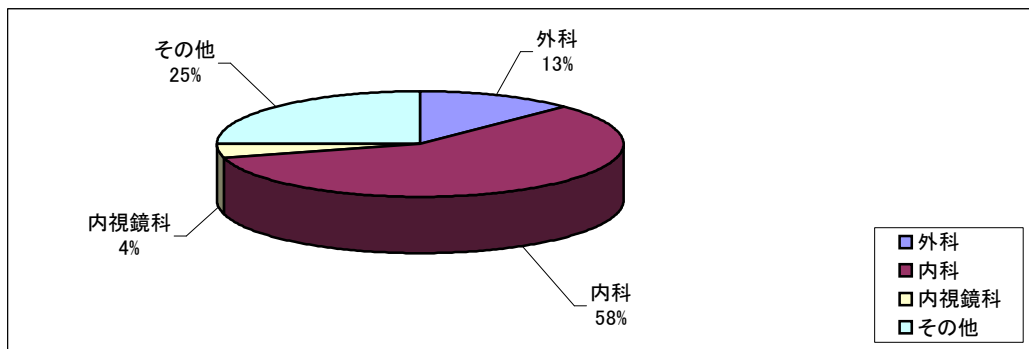
Q1. 貴院は？



その他

- ・ 老人ホーム
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 精神科
- ・ 介護支援センター
- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 訪問看護ステーション

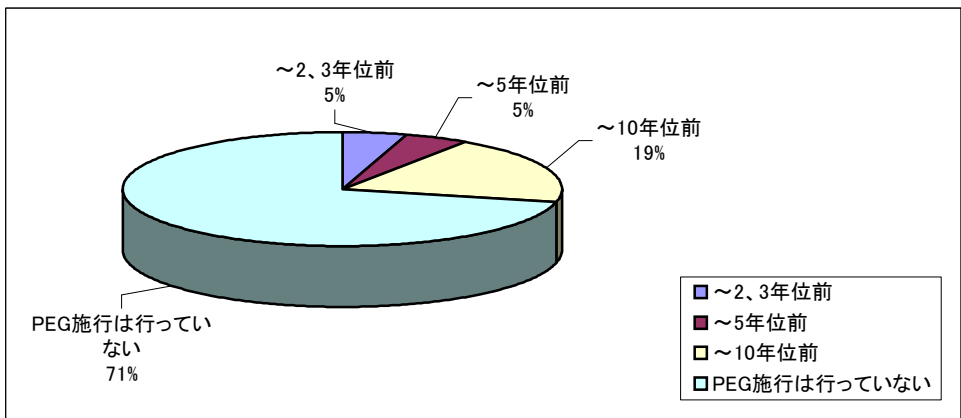
Q.2 ご担当の診療科目は？ (複数回答)



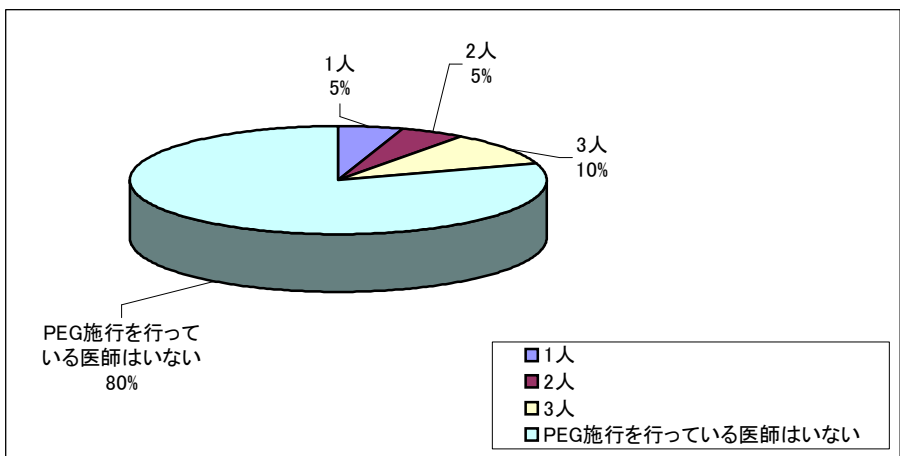
その他

- ・ 精神科
- ・ リハビリ
- ・ 整形
- ・ 泌尿器科

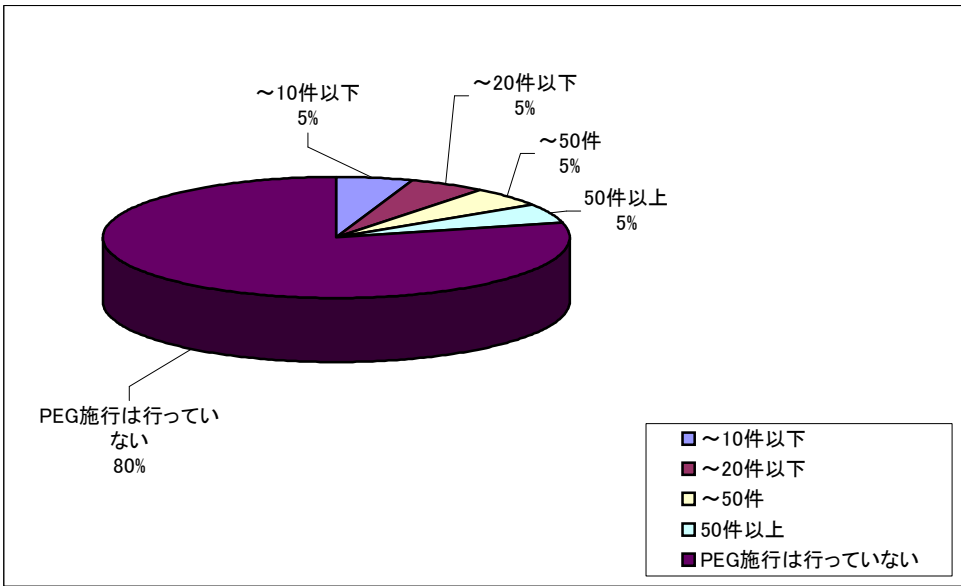
Q.3 PEG施行を行うようになったのは何年位前からですか？



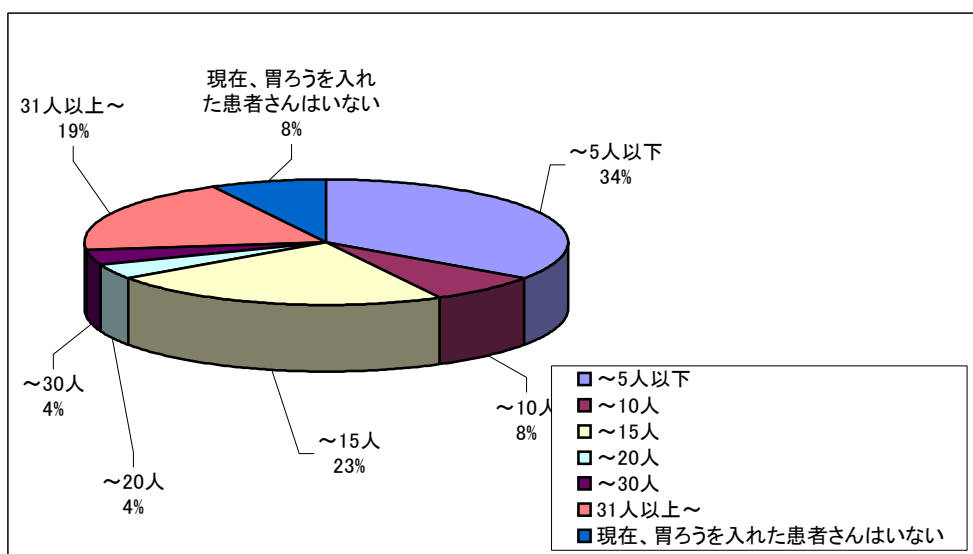
Q.4 PEG施行を行っている医師は何人いますか？



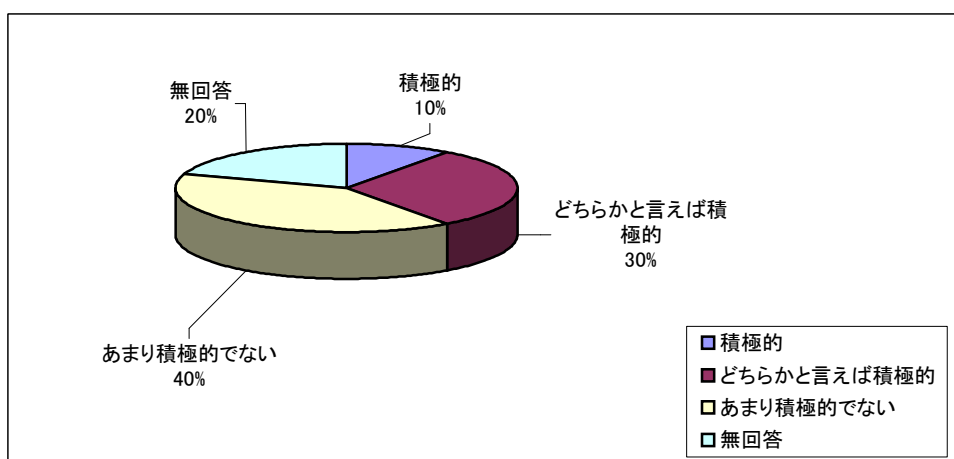
Q.5 1年間にPEG施行は何件位行っていますか？



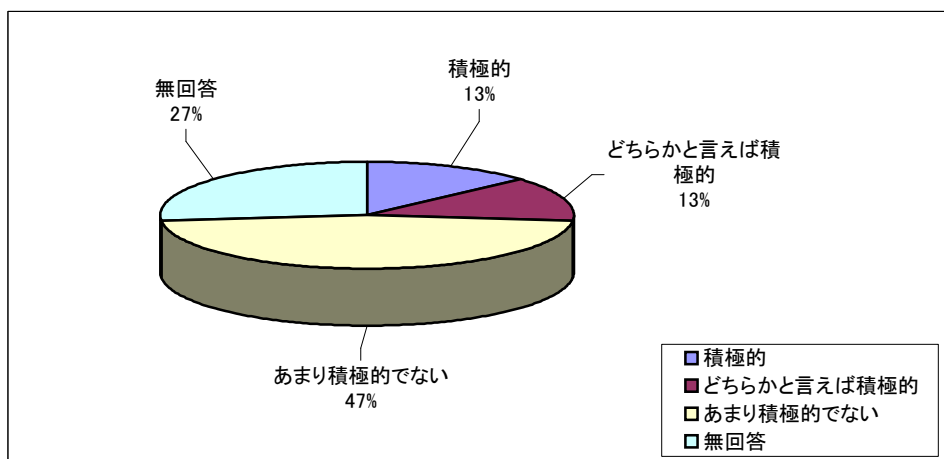
Q.6 現在、胃ろうを入れた患者さんは何人位いますか？



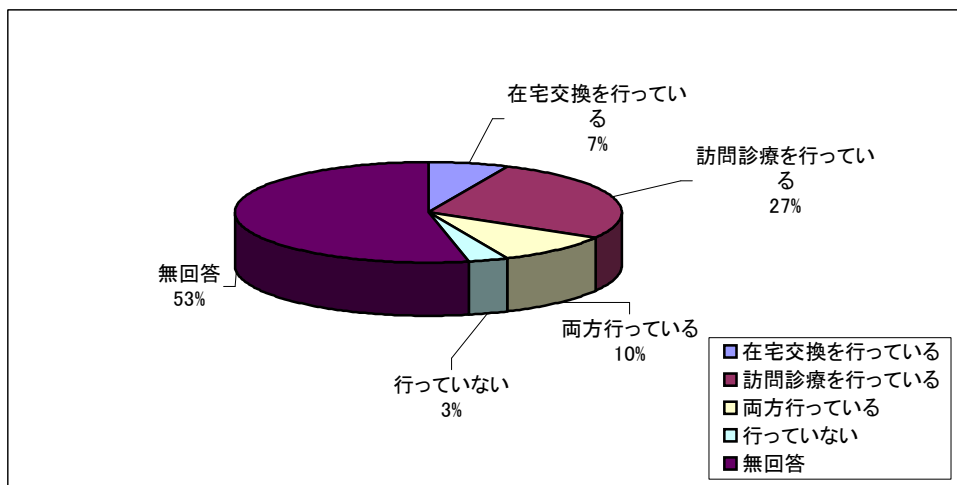
Q.7 貴院はPEG施行に積極的ですか？



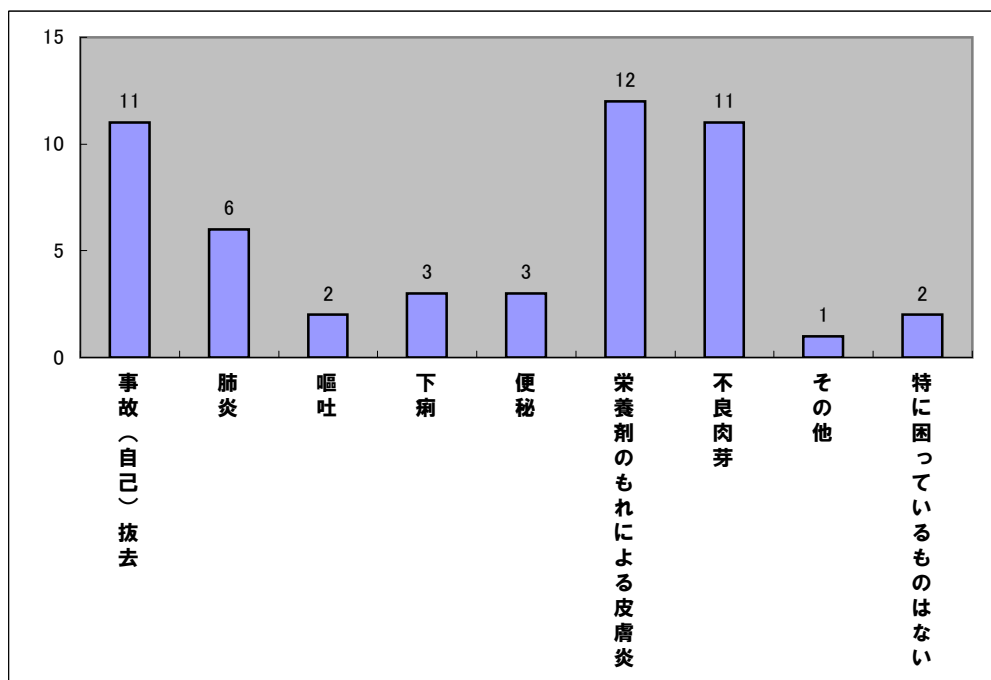
Q.8 貴院はPEG造設後にリハビリテーションを行うなど患者さんの早期退院に積極的ですか？



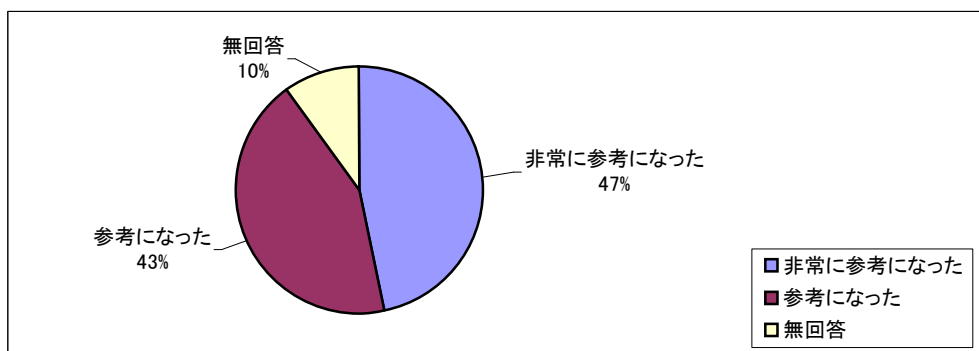
Q.9 貴院はPEGの在宅交換や訪問診療を行っていますか？



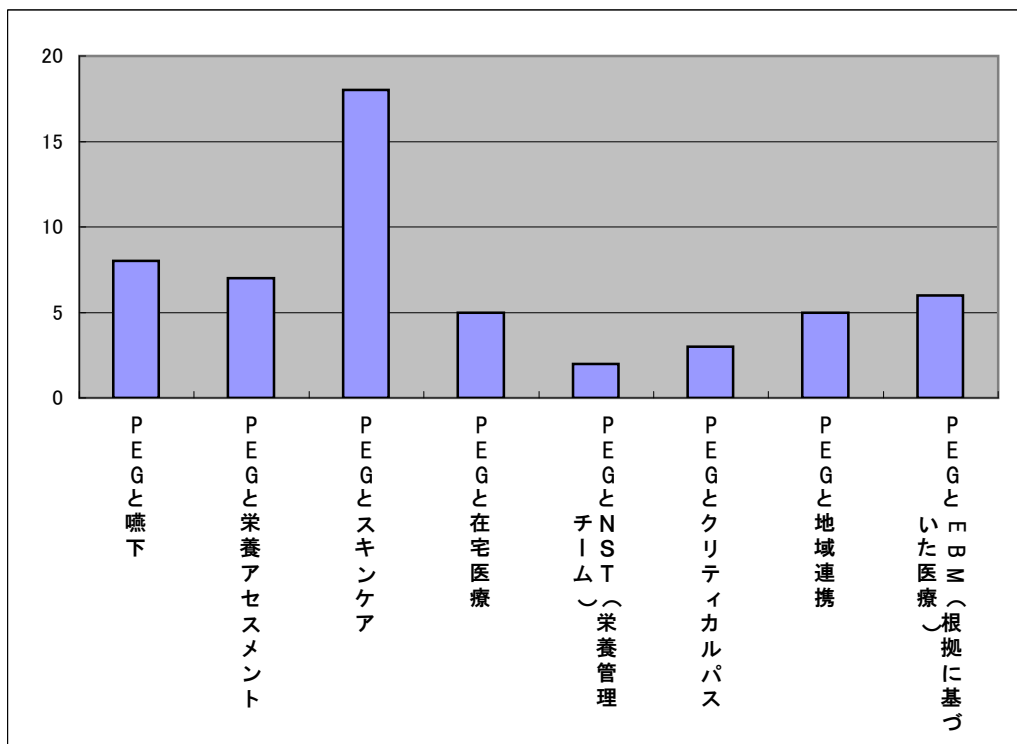
Q.10 術後のMinor complicationで、その対策に困っているものがありますか？(複数回答)



Q.11 今日のセミナーは参考になりましたか？



Q.12 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？（複数回答）

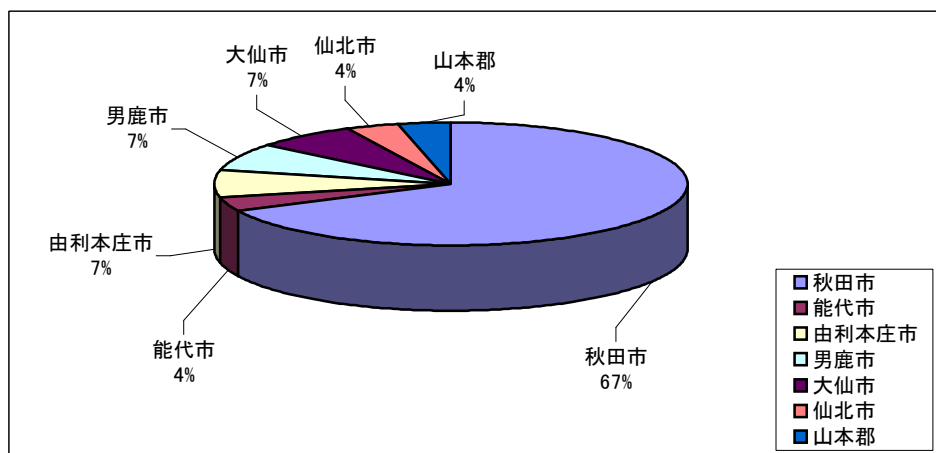


自由回答意見

Q. PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？ 忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

- ・ PEGの看護本では解決出来ない問題が多々あります。パソコンにもものらないトラブルかかえる事があります。今回のようなセミナーを行っていただくと大変ありがたいと思います。
- ・ 私が勤務する病院ではPEG患者が転院されてくるケースが多いのですが、何年かになるので、必ずと言っていいほどDr.もNsもパニックにおちいり、まちがったケア方法で状態悪化させてしまいます。Nsだけでなく、Dr.にも知識の普及をしてもらえたらよいと思います。
- ・ 医療関係者の理解を深めることが必要。関先生の動画によって、どのように胃ろうが設されるのかが理解でき、今後の看護に活かすことができます。医師や、その他の連携をとるスタッフが1人の患者をトータルにみて、同じ方向で関わる勉強会や病院、施設(在宅)の思いがプラスになるようにPRをお願いいたします。経口摂取についても、考えさせられました。
- ・ PEGの長・短所を知り、常にどのようなリスクがあるかを理解する。
- ・ えん下性肺炎のこわさを一般の人に知ってもらう。
- ・ 経鼻栄養カテーテルが御本人にとってつらい処置であることを知ってもらう(家族は勝手に経鼻栄養カテーテルを希望するのですが、本人はとてつらくて、表情も暗くなり、抜去する方が多い為)。

貴院所在地は？



答)